



移住コンシェルジュが移住者ならではの視点で本市の魅力を発信しています。

問 政策企画課 鹿角ライフ促進班
☎30-0208

帰省してあらためて感じる 豊かなまち 鹿角

鹿角はとても豊かな場所です。「鹿角は何もない」という言葉を聞いたことがありますがお金では買えない豊かな自然や誇るべき歴史があります。香川県出身の私は、暮らしの中で香川の歴史に触れる機会はほとんどありませんでした。鹿角に移住して驚いたのは、皆さんが地元の歴史に詳しいことです。よく耳にする言葉の一つに、「昔こは南部藩だったから」という言葉があります。本当によく聞きます。これは良い意味で、歴史や土地に誇りを持っているということだと思っています。私は香川県に住んでいて、「私たちは讃岐藩だから」という言葉を聞いたことは一度もありません。そもそも、「藩」という言葉を学校以外で聞くことはありませんでした。しかし鹿角は違っていました。自身のルーツを大切にしている、とても素敵なことだと思います。

私事ですが、先日約3年ぶりに香川に帰省しました。出発前には地域の方々から「ちゃんと帰って来てね」とか、「香川の方が良いと思って帰ってこないんじゃないの？」なんて言われました。香川では、どんな些細なことでも、「もっと良い選択肢がなかったのか？」と常に考えていました。食事の場所や出かける場所など選択の連続で、「気持ちが休まる暇のない場所」でした。鹿角では、あそこでこれを食べよう、あそこでこれを持てると、目的がはっきり持てるのに、香川では多すぎる選択肢の中から選ばなければなりません。

似たようなものが多く、どれを選んだとしても大して変わりがないのに。結局、帰省はかえって疲れました。そして、それが分かったのは収穫でした。私が鹿角へ戻って来て最初に思ったことは「早く温泉に入りたい」でした。鹿角はとても豊かな場所です。選択の連続で疲弊していた香川での生活の中で、一番大きな選択はもちろん、「鹿角で定住する」という選択でした。この選択は今でも良かったと思っています。そう思える魅力が鹿角には溢れています。その魅力をこれからも発信し続けたいと思います。



かづのロマン

5月から鹿角市に住み始め、春夏・秋と過ぎましたが、日々新しい発見をしながら楽しく過ごしています。仕事での移動中や休日のドライブで車窓から流れる景色を見て、山が笑ったり、山と雲がせめぎ合ったりする様子を車を停め愛用のスマホで撮影するのが日課です。

移住コンシェルジュとして「森と山の案内人」養成講座に

参加し、八幡平エリアを歩くようになって、山に魅力を感じるようになりました。今まで、登山や自然散策に興味なかった私に起きた大きな変化でした。そして、登山や自然散策をしていると、景色や高山植物など、自然が素晴らしいのはもちろんですが、それぞれの場所に「ストーリー」があることを聞くと、さらに興味深く感じます。例えば、

「龍」にまつわる伝説があることを知り、神秘的だと感じました。ガイド養成講座の講師の方が「ジブリ映画にでてくる世界」と表現していましたが、鹿角の景色や文化には、時折そういった非日常を感じます。

鹿角には、自然だけではなく、古くからの伝統や文化がたくさん残っています。この歴史の深さが、鹿角の人々のあたたかさやエネルギーにつながっているような気がします。

これからも、ロマンあふれる鹿角の魅力を多くの方々に発信していきたいと思っています。

